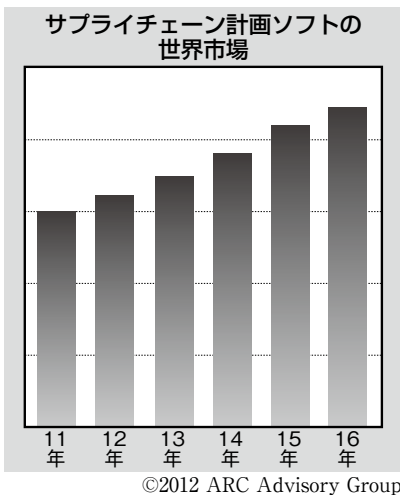


本コーナーでは米国の大手調査会社、ARCアドバイザーグループの市場報告書について報告している。今回はサプライチェーン計画ソフト市場についてのレポートを取り上げる。

情報投資の回復により拡大する サプライチェーン計画ソフト市場

ARCアドバイザーグループによる最新の調査によれば、SCP (supply chain planning) サプライチェーン計画ソフト) の世界市場規模は今後五年間で四四%伸びると予想される。これは年平均成長率七・六%に相当する。世界的な景気後退が一服しつつある現在、ITへの投資額は大幅に増えた。SCP市場もこの流



©2012 ARC Advisory Group

れに乗り、ベンダーの売り上げは長期的トレンドを上回る伸びを示している。

SCP市場は広い範囲にわたり、これまでのトレンドを上回る成長を続けている。

ARCの『Supply Chain Planning Worldwide Outlook』の著者で、エンタープライズ・ソフトウェア・アナリストのクリント・ライザーは「SCPアプリケーション・地域・エンドユーザーのセグメント、いずれの面においても成長していると各ベンダーは報告している。これはいくつかが有力な採用例が出てきたことと、これまでの景気後退で封印されていた需要が戻ってきたことを意味する」と語る。

IBPが成長を加速

近年、企業はS&OPを含むIBP

(integrated business planning = 統合ビジネス・プランニング) に対して興味を示し始めた。企業活動全体を包括的に見渡すことができるよう、企業はこれまでバラバラだった各プロセスを統合しようとしている。

この努力とビジネスプロセスの進化により、企業の計画立案のレベルが向上するS&OPソリューションの採用が増えた。S&OPの価値は、ビジネス分析機能やメモリー上での高速演算技術などの急激に進化するサポート技術によって高められている。

ユーザー企業が需要に応じた製品供給に注力していることから、需要管理アプリケーションの販売は依然好調である。今日のソリューションが提供するのには、季節性・キャンペーン・値付けの影響など数多くの因子を自在にモデル化するための標準化された機能である。機能と使い勝手の改善により、莫大な数のSKUロケーションに遍在するさまざまな製品の需要を、正確に予測することが可能になった。

需要シグナルレポートリを利用する一般消費者、食品・飲料などの大手メーカーが増えていることも、需要管理ソリューションが広がる要因となっている。需要シグナルレポートの利用は、POSデータの量、即時性などの全体的な価値を高める。こうしたデータを利用することで、企業が需要予測のプロセスから引き出すことができる潜在的な価値も高まることになり、ひいては需要予測ソリューションの活用が増えることになるだろう。